

# 自衛隊神奈川地方協力本部



川崎出張所は「地域の中学生に自衛隊という職業を知ってもらい、将来の進路の選択肢の一つに入れてもらえればありがたい」としている。

## 充実したフィールドワーク

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明1陸尉）は、11月13日（水）、川崎市富士見中学校の1年生に対して出前授業を行った。今回は、自衛隊を選んだ2グループ13名が川崎出張所に来所し、「広報官にインタビューして自衛隊のことを知っていく」というフィールドワーク形式での実施となった。

「働いていて嬉しかったことは何ですか？」という生徒からの質問に、「災害派遣で被災された方から感謝の言葉を言われたことです」と広報官が答えたと、聞き慣れない災害派遣という言葉に驚きながらも興味を示し、その後も「緊急事態はどのような活動をしていますか？」などの質問が続いた。インタビュー終了後も、事務所の中に展示している陸海空自衛隊の模型やグッズを「いろんなものがあるって面白い」と喜んで見ている姿も見られるなど、インターネット等の資料では得られない実際の体験により、充実した内容のフィールドワークとなったようだった。

## 久里浜駐屯地創立74周年記念行事で広報活動



11月17日（日）、横須賀市に所在する陸上自衛隊久里浜駐屯地の創立74周年記念行事が開催されました。一般開放された駐屯地では、観閲式の行進や訓練展示、音楽隊演奏などが行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 田尾雅弘3等海佐）も会場にブースを設置し、自衛官募集などの広報活動を行いました。ブースには自衛隊に興味のある人が訪れ、広報官が自衛隊の活動や入隊制度などについて丁寧に説明しました。受験種目の案内など、入隊制度の説明について熱心に耳を傾ける姿も見られ、職業としての自衛官に対する関心の高さが感じられました。説明を受けた方からは「自衛隊の受験種目にどんな種類があるかよく理解できた」、「高等工科学校に合格する為に勉強を頑張ります」などの声が聞かれました。

横須賀地域事務所では、今後各種行事に積極的に参加し、地域と密接に連携した募集広報活動に取り組んでいきます。自衛隊にご興味がある方のお問い合わせをお待ちしています。

## 海老名市民まつりでの広報活動



自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、11月17日（日）、海老名運動公園で開催された「海老名市民まつり」において、陸上自衛隊第4施設群の支援を受け広報活動を行った。当日は、夏を思わせる陽気のなか、子供から大人まで幅広い世代が1日中楽しめるイベントが多数実施され、約16万人の来場者でにぎわった。厚木募集案内所も防災イベントの一役を担い、1/2トトラック及び偵察バイクの車両展示、災害派遣パネル等の展示を行った。「災害派遣は体力的にキツイか」など来場者からの質問に広報官が丁寧に説明し、自衛隊の活動等への理解を深めていただいた。合わせて迷彩服試着体験も実施し、展示車両の前で「かわいい」「かっこいい」などの声を上げて記念撮影する来場者でブース周辺は大にぎわいとなった。また、南極の氷体験では、陽気な天候もあり多数の方に「南極」を感じていただくことができた。さらに、神奈川地本のキャラクターの「たま」が会場に現れるとあっという間に人だかりができ、一緒に写真撮影をする光景も見られた。イベントが終わりブース撤収時には、「今日はありがとう」「これからも頑張ってください」との声をいただき、広報官は身の引き締まる思いだった。

厚木募集案内所は、「今後も地域や関係機関、部隊等と連携しながら地域に根ざした広報活動により自衛隊の魅力を発信し続け、人的及び防衛基盤の拡充に努めていきたい」としている。